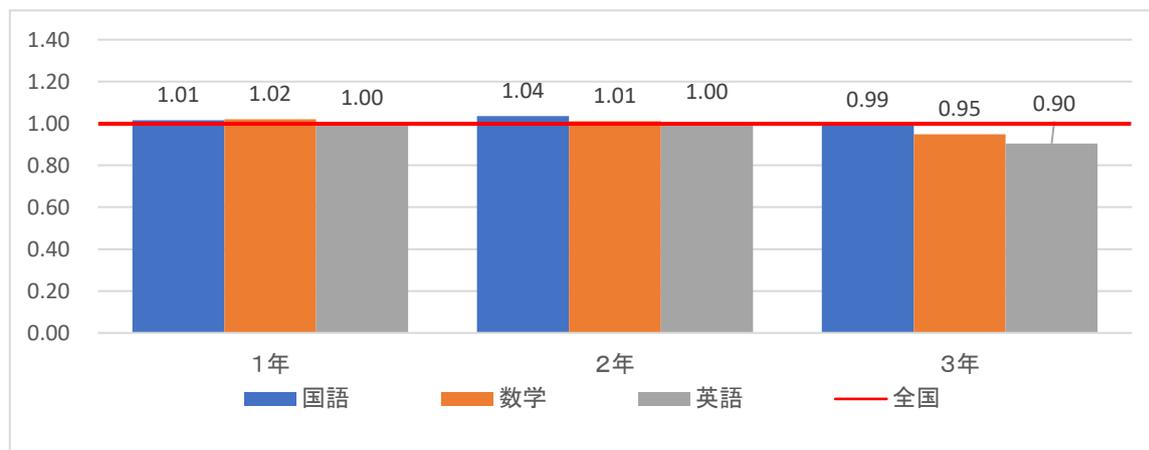


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第三中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	領域「情報の扱いに関する事項」について全国平均を上回っており、今後も情報を整理し自分の言葉で表現できるよう指導していく。
	数学	領域「数と計算」「数と式」について全国平均を上回っており、今後も分割授業やTT等により個別の課題に応じた指導を行っていく。
	英語	領域「読むこと」において全国平均を上回っており、引き続き、言語活動を中心とした授業に取り組んでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	「資料を用いて自分の意見が分かりやすく伝わるように話すことができる」設問において全国平均を上回っており、引き続き、表現を工夫するなど、対話中心の授業に取り組んでいく。
	数学	「式とグラフの特徴を関連付けて理解する」設問において全国平均を上回っており、引き続き、思考力や判断力を養う指導を行っていく。
	質問紙	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の設問で、肯定的回答の割合が全国平均を上回っており、今後も生徒に寄り添った指導を行っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

小中一貫校区部会の「学力向上部会」において、学力調査の結果分析に基づいた対策を共有し、義務教育9年間を通じて児童・生徒が主体的に学び合える授業づくりをめざしている。

また、三校授業交流会や各種研修会等により、校区全体で学力向上に努めている。

【 学 校 】

自立した生徒の育成を目指し、全ての教科において、ペア学習やグループ学習等を取り入れ「主体性」「自分で考える力」の育成を図っている。また、教員同士が互いに授業を参観する機会を設けたり、校内研修会を充実させたりするなど授業改善に努めている。